

淀川左岸線(2期)事業だより

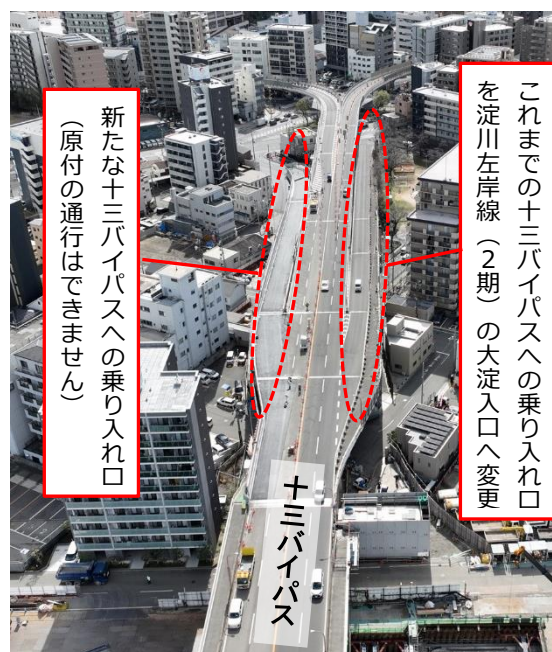
※ 淀川左岸線(2期)事業の概要は創刊号(第1号)をご覧ください



『十三バイパスの乗り入れ口を変更しました!』

淀川左岸線(2期)事業の大淀IC(インターチェンジ)の整備として、これまでご利用いただいていた十三バイパスへの乗り入れ口を、淀川左岸線(2期)への入口として使用するため、新たに十三バイパスへの乗り入れ口となる橋を東側に架ける工事が完成し、**令和6年2月28日**に十三バイパスの乗り入れ口を変更しました。

なお、新たな乗り入れ口からは総排気量50cc以下(電動機の場合は定格出力0.6kw以下)の原動機付自転車(原付)での通行はできませんので、原付をご利用の際は、なにわ筋からの乗り入れ口をご利用いただきますよう、お願いします。



▲上空からの写真
(淀川側から撮影)



▲新しい十三バイパスの乗り入れ口

工事にあたり、近隣の方々をはじめ、利用者みなさまには大変ご迷惑をおかけしました。

また、ご協力をいただきまして誠にありがとうございました。

引き続き、淀川左岸線（２期）の【大淀入口】の工事を進めていきます。

淀川左岸線（２期）の大淀入口は、2025 大阪・関西万博開催時には、大阪駅等の大阪中心部と万博会場となる夢洲とを結ぶシャトルバス等のアクセスルートとして利用する予定です。



『自動運転バスの実証実験が報道公開されました！』



運行を担当する阪急バスと京阪バスが参加し、両社の車両が、搭載カメラや衛星利用測位システム（GPS）で位置や周囲の状況を把握しながら、淀川河川敷の約600メートルを最高速度60キロでスムーズに自動運転走行しました。

2025 大阪・関西万博開催時に、新大阪駅、大阪駅などから発着する来場者輸送のシャトルバスの一部として運行を予定している「自動運転バス」の実証実験が3月3日に報道公開されました。

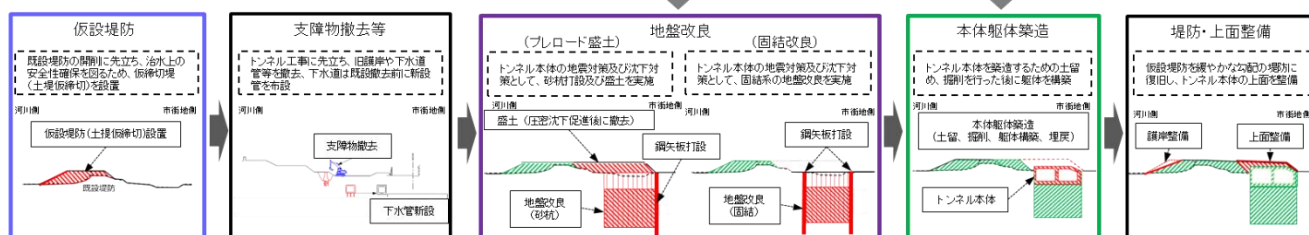


運転手さんが乗車していますが、ハンドル操作はしていません！ 手は おひざ！

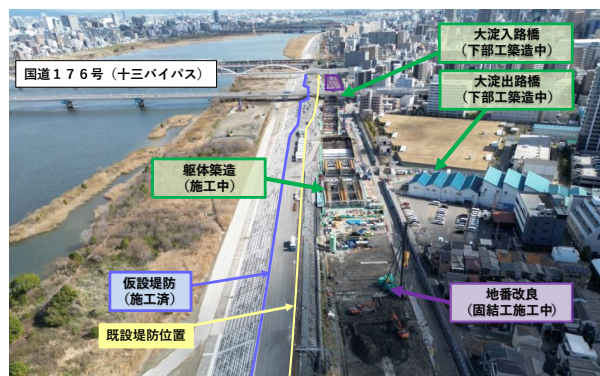
工事の進捗状況

淀川左岸線（２期）事業は、全長4.4kmの区間を大きく１～３工区の３分割にして下流側の１工区から順次工事を進めています。河川の堤防を一部掘削してトンネルを構築することから、治水上の安全性を確保するために、最初の施工ステップとして仮設堤防を川側に構築したうえで、トンネルを構築することとしております（下記ステップ図参照）。

令和６（２０２４）年２月現在、１工区（海老江 JCT～JR 神戸線）では全線にわたってトンネル本体の躯体を築造中です。２工区（JR 神戸線～阪急電鉄）と３工区（阪急電鉄～新御堂筋）では、大部分で地盤改良を実施しており、一般道との接続部となる大淀出入口や豊崎出口付近ではトンネル本体の躯体を築造中です。



▲ 1工区（海老江 JCT～JR 神戸線）の工事状況（R6.2月）



▲ 2工区（JR 神戸線～阪急電鉄）の工事状況（R6.2月）



▲ 3工区（阪急電鉄～新御堂筋）の工事状況（R6.2月）

最新の施工状況は建設局 YouTube でご覧いただけます
ドローン映像 URL（再生リスト）：

https://youtube.com/playlist?list=PLt8-6DQr_zPYIrx618IhmAHj3OYfNRJmL&si=NeAVgcm-

お問合せ：

大阪市建設局 淀川左岸線 2 期建設事務所

住所：福島区野田 6-2-16

電話：06-6466-2180

